

伊勢・三河湾貧酸素情報 (R4-7号)

令和4年7月26日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和4年7月25日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

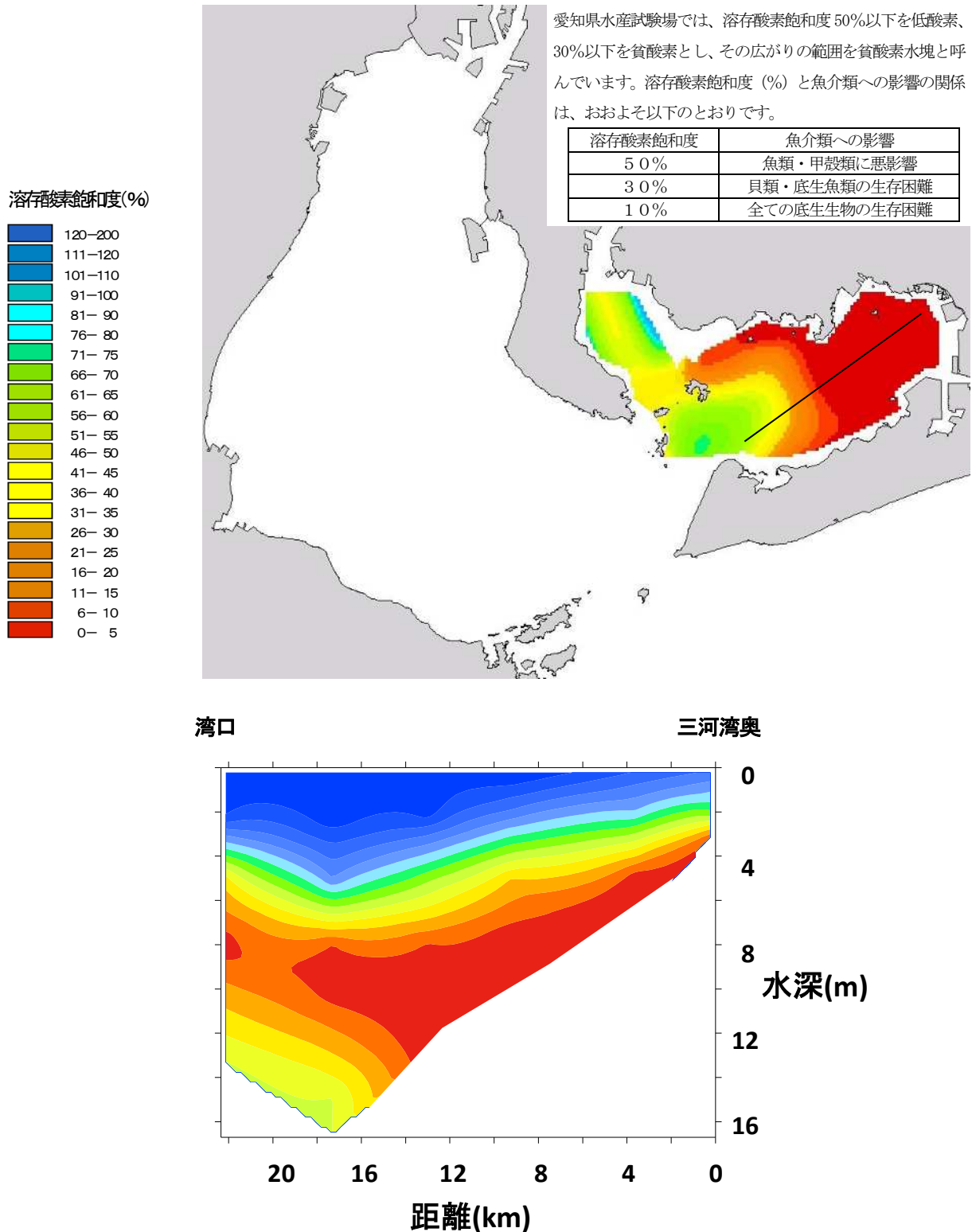


図1 三河湾 (7月25日) 底層の溶存酸素飽和度の分布 (上図) 及び上図直線部分の鉛直分布 (下図) (愛知県「へいわ」調査)

三河湾

7月25日の調査結果を図1に示しました。渥美湾の湾奥部と知多湾西部で貧酸素水塊が確認されました。前回調査時（7月12日；図2）と比べると、渥美湾では溶存酸素飽和度10%以下の範囲が広がっていました。

鉛直分布図を見ると、渥美湾の湾奥部から湾中央部の底層で溶存酸素飽和度10%以下の貧酸素水塊が発達していました。一方で、湾口部では貧酸素水塊が中層に見られ、底層では溶存酸素飽和度50%台の水塊が見られました。外海水が湾口部に流入し、貧酸素水塊が持ち上がっていると考えられます。

7月初旬以降、降雨が多くなっており表層塩分が低下しています（表）。密度躍層が発達していることから、今後も貧酸素水塊が拡大すると思われる。

表 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	27.7~30.4	17.1~27.4
底層	19.9~27.3	27.7~33.6

参 考

前回調査時の両湾底層の溶存酸素状況

溶存酸素飽和度(%)

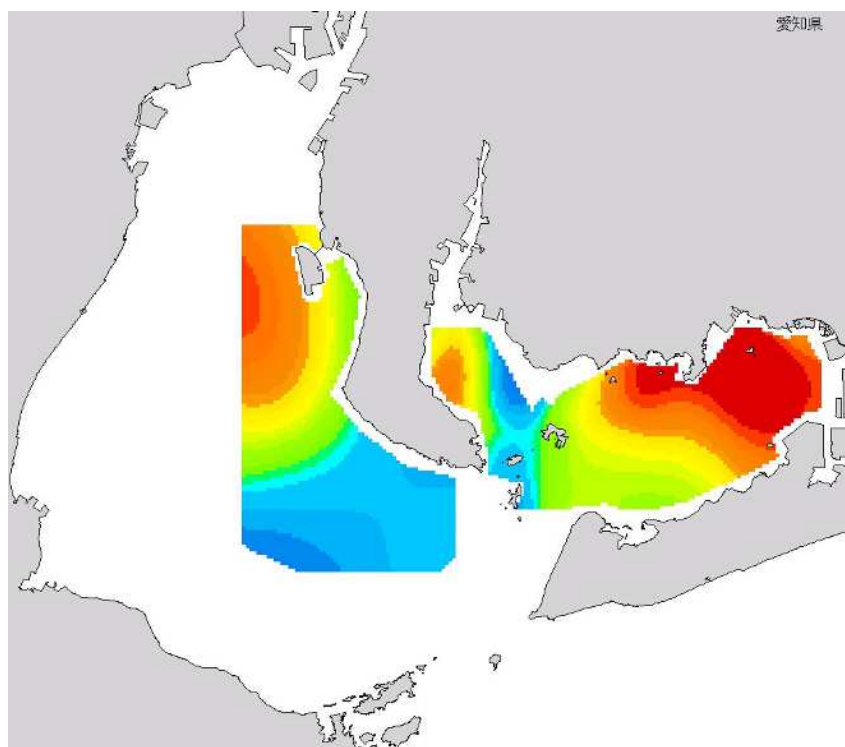
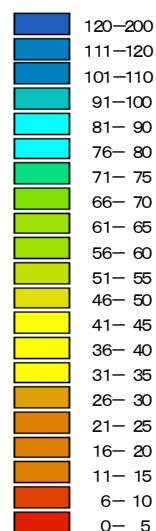


図2 令和4年7月1日（伊勢湾）、7月12日（三河湾）